学校だより ホームページはこちらから→

れいわ ねん がっ にち 令和4年10月31日

よこはましりっほんもくみなみしょうがっこう横浜市立本牧南小学校

めざす子どもの姿 元気いっぱい、やさしさいっぱい、何でもチャレンジ南っ子!

ずっこう かてい ちいき 学校・家庭・地域によって支えられている運動会

じどうしえんせんにん ひしかたゆういちろう 児童支援専任 菱形雄一郎

10月15日(土)に運動会を実施しました。前日まで、雨が心配される状態でしたが、当日は薄日が差すくらいのちょうどよい天候になりました。コロナ禍における運動会は、今年度で3回目です。実施内容の精選、児童間の間隔の確保、参観人数の制限などの感染症対策を行い、児童のりごうの学習の成果を発表することができました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力により、本校の教育活動を進めることができています。心より感謝を申し上げます。

私は今年度より児童支援専任となり、担任としてではなく、「みんなの先生」として運動会に関わる初めての体験となりました。演技に関しては、どのような内容にするのか、夏休みから検討が始まります。児童の発達段階に応じて、低学年では、軽快なリズムに乗って、楽しく踊れるようになることを自指します。中学年では、低学年の首標に加えて、全身を使った変化のある動きができるようにします。さらに高学年では、エイサーやソーラン節などの日本の民踊を取り入れ、日本の文化にも触れることをねらいとしています。教職員による準備や、指導の工夫によって、児童が運動に慣れ親しみ、「できるようになったことを他の学年や保護者に見てもらいたい」という気持ちを高めている様子を、全学年を通して見ることができました。

Harry Yulles war

カル かた ほんもの たいりょうばた か 漁師でいらした方から本物の大漁旗を貸していただいたり、翌年には、法被の材料として、山手

警察からワイシャツを寄付していただいたりしました。地域の方々の2をない、子どもたちの願いが実現し、そして今日までソーラン節が本校の伝統として受け継がれています。毎年、2を3かなを楽しみにしてくださっていた地域の皆様に、またソーラン節をご覧になっていただけるようになるのを、心待ちにしております

本校の学校教育目標では、『「ふるさと本教」を担う子どもの育成』を謳っております。それは、学校だけでなく、家庭と地域の連携があってこそ実現するものだと考えます。今後とも教職員一同、改めて家庭や地域の支えに感謝し、教育活動を進めてまいりたいと思います。